

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月28日		記入者		連絡先	113
平成18年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川 亮司
平成19年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川 亮司
事務事業名	集団資源回収事業					
予算上の事務事業名	集団資源回収事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます					
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築					
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市相模湖町集団資源回収事業奨励金交付要綱						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
ごみの減量化、資源の再利用に対する意識の高揚と推進を図ること。				・相模湖町内で定期的に資源回収を行う団体		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
相模原市相模湖町集団資源回収事業奨励金交付要綱に基づき、集団資源回収を実施した団体に対して奨励金を交付した。						
・資源回収事業登録団体 15団体						
・資源回収実施回数 延べ51回						
・集団資源回収事業奨励金 1,030,830円(新聞紙等143,958kg、瓶6,570本)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,031	1,157	1,157	
一般財源	0	0	1,031	1,157	1,157	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	1,354	1,561	1,561	
事業コスト合計	0	0	2,385	2,718	2,718	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	集団資源回収事業奨励金			対象名称 と単位	奨励金(千円)/活動回数(回)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,031	1,157	1,157	
対象数	0	0	51	60	60	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	20,216	19,283	19,283	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.95	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	資源回収実施回数(回)	指標式と指標の説明	実施回数（目標：申請書による予定回数、実績：実施した回数）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	51.0		
目標	0.0	0.0	52.0	60.0	60.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	98.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	奨励金交付団体数(団体)	指標式と指標の説明	当該年度の奨励金交付団体数を増加させること		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	14.0		
目標	0.0	0.0	15.0	15.0	15.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	93.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		ごみの減量化、資源の再利用に対する意識の高揚と推進を図るために必要な施策である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
奨励金であるため、資源回収を実施する市民団体に委ねる。			旧市、旧4町各町で同事業を展開しているが、地域特性等により独自の要綱にてそれぞれ実施している。 旧市と4町の奨励金単価の違いは、回収事業者への補助の有無のためであるが、将来的に統一することが望ましいと考える。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		合併の協議方針に基づき、旧相模原市の制度を見直した上で統合する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			